

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	戦略的複合共同工場整備事業工場棟	
建設地	南区 北田中字宮下497-9	
用途地域	工業地域	
建物用途	事務所, 工場,	
竣工年	2015年2月 予定	
敷地面積	7,229.36 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,903.60 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,880.00 m <sup>2</sup>	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2014年6月9日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{43.2}{43.1} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.9		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	1.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

・節水器具を積極的に採用している。

# CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	戦略的複合共同工場整備事業工場棟	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市南区	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	280時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年6月9日
敷地面積	7,229 m <sup>2</sup>	作成者	木村賢悟
建築面積	2,904 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月9日
延床面積	2,880 m <sup>2</sup>	確認者	丸山俊夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 91%  
③上記+②以外の 91%  
④上記+ 91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・本物件は、新潟市南区に建設される工場である。敷地内には適切な駐車スペースを計画し、地域の交通渋滞抑制に配慮している。また、建物高さを低く抑えることで、周囲に与える圧迫感を軽減するよう配慮している。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> ・全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆の内装材を採用しシックハウス対策に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内外装材及び配管材の採用に配慮している。 ・レイアウト変更が可能のように、階高を高く設けて自由度の高い設計としており、後進性や変更対応に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・空地を多く設け、風の通り道を確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率な設備機器を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・過半の便器及び水栓器具に節水機能のある機器を採用し、節水に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・十分な駐車台数の確保に配慮している。 ・建物高さを抑えて見付け面積比を小さくしたり、敷地境界線からの後退距離の確保に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される